

令和7年度 大田区立南蒲小学校 自己評価 報告書

※「おおた教育ビジョン」「南蒲小学校ホームページ」を参考にご記入ください。

ご芳名()

令和8年1月23日

○ 本校の概要

【学校規模】児童数：387名(1/23現在) 学級数：15学級 教員数：28名

【自指す学校像】

- 児童にとって、安心して自分を表現でき、目標をもってがんばる過程が認められ、自尊感情および自己肯定感が育まれる学校
- 保護者にとって、安心して通わせることができ、こどもたちのために協力したいと思える学校
- 地域にとって、親しみと誇りを感じる存在で、学校の活動を応援・支援したいと思える学校
- 教職員にとって、改善に向けた取組の成果や学校組織の一員としての貢献を実感できる学校

【本校の主な特色】

- たてわり班による異学年交流活動(全学年)
- 外部講師を招いたキャリア教育(4~6年) 令和7年度キャリア教育モデル校(令和5年度より継続)
- 特別活動の要となる学級活動についての校内研究(指導力向上)
- 総合的な学習の時間を課題発見、探求できるよう「南究タイム(南蒲探究タイム)」と命名
- 朝学習における持久走「なんぼーラン」の取組(全学年) 令和6年度大田区小学生駅伝大会5年連続優勝(5.6年代表児童)
- 特別支援教室(サポートルーム)拠点校、特別支援学級(5組)設置校

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

おおた教育 ビジョン 大項目 (前回ビックンページ)	おおたの 教育の 方向性	具体的な南蒲小学校での取組内容	教職員 記入欄	学校関係者 記入欄
			職員指標	評価・コメント
予測個別困難な目標来1社(会2を創26)3に生きる力を育成します	し予社ま測会す因の難様な々未な來課社題会をを自切分り事拓といしてい捉くえ、ため主に体重要に考創え造他力者やと課協題動解し決力問題解決情報活用して能効成や	<ul style="list-style-type: none"> ○区独自教科「おおたの未来づくり」(今年度より実施) →5年…地域創生 「私たちの町を盛り上げよう！」 6年…ものづくり 「私たちの校章 エゴマの葉」 ○ものづくり ○小中学校理科授業向上研修 →3年以上の理科授業において、担任が授業公開をし、教育委員会から指導を受ける ○キャリア教育 →2年…町探検 3年…町探検、店・施設見学 4年…ドリームマップ 5年…みらいエール、(夢の教室) 6年…租税教室、キャリアカウンセリング、お仕事インター ビュー、ものづくり体験 ○移動教室(2泊3日) →5年…伊豆高原移動教室 6年…とうぶ移動教室 ○学校行事(主な行事) →6/27南浦フェスティバル(児童が企画した出店) 5/17運動会 11/21.22学習発表会 ○小中学校連合行事(主な行事) →小学生駅伝大会、連合書写展 ○自己肯定感の醸成 →児童が自他を認め合い、互いのよさを知るための学級活動を中心とした話し合い活動を取り入れる ○タブレット端末を活用した授業等による →教員による電子黒板を活用した授業や児童一人一台端末を活用した授業の設定 ○情報活用能力の育成 →タイピングアプリを活用したキーボード入力技能、 写真や動画を撮影し自己の課題に問い合わせ編集する技術、 インターネット検索など ○情報モラル教育 →学年に応じた情報モラル教育を授業時間内に設置 	3.21	<p>【A~Dの中から1つお選びください】</p> <p>A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)</p> <p>【評価についてのコメント】 (職員より) ・理科の授業について区教委より巡回指導があり、夏休みの研修もよかったです。 ・タイピング技術や情報モラルの向上を図る授業をもっと取り入れる必要がある。</p>
育世界個と別ますなが標る2国(際都市おおた)を担う人材を	すをてに。もい、ちく我が持度国統をや可育郷能成土なしの社ま伝会す統を文形ま化成たにしして国れい際く社尊態会重度地するを域心形社心成会やしに協ま関力心し	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語活動・外国語教育指導員(ALT)の配置 →1.2年生…年間25時間(担任+ALT) 3.4年生…年間35時間(担任+ALT) 5.6年生…年間70時間(外国語教育指導員+ALT) 英語カフェを各学年年間9時間実施(昼休み) ○人権教育 →12月に校内人権作品展を実施するとともに道徳の授業等において学年に応じた人権に関する授業を行う ○地域社会の歴史、伝統・文化などの体験学習 →2年…町探検、図書館見学 3年…町探検、店・施設見学、笑顔と学びの体験活動プロジェクト 4年…水道キャラバン、ドリームマップ 5年…お米の学校 6年…ものづくり体験 ○社会科副読本「わたしたちの大田・東京」の活用 →社会科(3.4年)の授業において活用 ○SDGs →家庭科、社会科、南究タイムなどの授業において、意味や17の目標で取り組めることについて考える ○ボランティア活動 →児童会において、活動の有無や内容について話し合う 6年生が卒業前に清掃活動を実施予定 	3.19 3.55 3.1	<p>【A~Dの中から1つお選びください】</p> <p>A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)</p> <p>【評価についてのコメント】 (職員より) ・ALTの先生とのやり取りの中で、外国語に興味をもっている児童が多い。</p>

一人ひとりが目標3（～40力を発揮するための基礎となる力を育成します）	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳授業地区公開講座→10/11 ○生命尊重週間 →命の大切さについて学ぶ授業を行う 【令和7年度 生活指導重点目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつをしっかりしよう」 ・「廊下は右側を歩こう」 ・「名前に“さん”をつけて呼ぼう」 ○読書活動 →図書ボランティアどんぐりによる土曜お話会 学級本棚の設置、学級文庫の配布 ○音楽鑑賞教室→7/3（5年） 	3.29	【A～Dの中から1つお選びください】
			A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)
			【評価についてのコメント】 (職員より) ・廊下の本棚が好評で、本を読む姿が多く見られた。 ・食育の授業で、子どもたちが給食を残さず食べようとする意識が高まった。 ・駅伝における教員の指導体制や代表児童の選考について検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ○大田区学習効果測定→4/25（4～6年） ○学習力ウンセリング →夏季休業中の個人面談において、学習効果測定の結果や日頃の学習状況について保護者に伝える ○習熟度別少人数指導 →算数において学年を習熟度別クラスに編成し、授業を行う ○補習教室（算数） →1年…毎週火曜 2年…毎週金曜 3.5年…隔週火曜 4.6年…隔週金曜 ○タブレット端末等を活用した家庭学習 →各学年の実態に応じて実施 ○大田区漢字検定→2/16 	3.36	【評価についてのコメント】 (職員より) ・体力調査結果の分析による体育授業改善、楽しい運動習慣の確立 →全学年で統一したなんば運動、整理体操 体育の模範授業を参観、共有し、授業改善を行う
学校個別目標4（～5力を向上させます）	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生駅伝大会 →週1回朝学習の時間に5分間走を実施 大田区小学生駅伝大会5年連続優勝（5.6年生選抜） ○健康教育 →「早寝・早起き・朝ご飯」習慣の取組（5月、10月） 学活や保健において健康に関する授業を行う ○食育指導 →学活や生活科において食に関する授業を行う 	3.29	【A～Dの中から1つお選びください】
	<ul style="list-style-type: none"> ○保幼小連携 →保育園、幼稚園との交流授業 就学前の引継ぎ ○1年学級支援活動 →1年学級への支援員の配置 給食ボランティアによる給食準備等の補助 ○保幼小連携運動遊び指導者研修会 →低学年担任が夏季休業中に研修に参加 ○小中一貫教育 →連携校である東蒲中、東蒲小との授業参観 生活状況調査（5.6年、中学1～3年） 進学前の引継ぎ 	3.35	【評価についてのコメント】 (職員より) ・手紙の配布をtetoru活用し、徐々にペーパーレスにしていきたい。 ・支援員の人材確保が課題である。
学校個別目標4（～5力を向上させます）	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した授業の充実 →ICT支援員を活用し、タブレット端末を利用した授業を実施 夏季休業中において、ICT研修を実施 ○教科担任制 →全学年で実施 ○専科配置 外国语…5.6年 音楽…1～6年 國工…2～6年 家庭科…5.6年 少人数算数…1～6年 	3.24	【A～Dの中から1つお選びください】
	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究を柱とした組織的な授業改善 →『よりよい学校生活を目指し、合意形成を図る児童の育成～互いの意見のよさを認め合う話し合い活動を通して～』 【学級活動の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・児童の意見を踏まえ、学級目標を決定 ・毎月「知・徳・体」についての目標を児童が設定 ・学級や学校の課題を自分たちで見付け、考えを話し合う ○授業力向上に向けた研修の充実 →授業力や指導力の向上を図るために、月1回OJT研修を実施 全教員が授業力を向上させる取組として、年間4回の研究授業を実施 いつでも授業を参観し合える教員の関係づくり ○学校の情報発信 →ホームページ classroom まなびポケット 学校公開 	3.08	【評価についてのコメント】 (職員より) ・手紙の配布をtetoru活用し、徐々にペーパーレスにしていきたい。 ・支援員の人材確保が課題である。
学校個別目標4（～5力を向上させます）	<ul style="list-style-type: none"> ○職層に応じた校務分掌やOJT →次年度への引継ぎや職層を考慮した人事配置 主任教諭や若手教諭が中心となって運営するOJT研修 ○教員支援員の配置 →年間で固定した人材を配置することで校内事情を把握して支援にあたることができる ○ICTを活用した事務の効率化 →会議資料を電子化するとともに、会議時間を縮小し、日頃から情報共有するシステムを構築 職員が使用・持ち帰ることができるタブレット端末が2台、校務端末と同等の機能がある持ち帰り端末が学校に3台配備 	2.95	【評価についてのコメント】 (職員より) ・手紙の配布をtetoru活用し、徐々にペーパーレスにしていきたい。 ・支援員の人材確保が課題である。

自分個別目標を達成するための学びを支援します	す困難のある児・童生・徒生が徒自一人ならひとりの状況にとあわせた教育環境を整えます。に、相談機能の充実を図ることで、	<ul style="list-style-type: none"> ○知的障害特別支援学級→5組（R4より設置） ○通級指導字級 →弱視…東調布第三学校 難聴、言語障害…北糀谷小学校 ○特別支援教室→サポートルーム（拠点校） ○特別支援教育に関する研修 →年度当初に5組、サポートルームについての機能を周知するとともに、夏季休業中に特別支援教育についての研修を実施し、より理解を深める ○特別支援教室と通常の学級との交流 →5組の児童は各学級に所属し、朝の会や一部授業、行事等と一緒に参加する 	3.38	<p>【A～Dの中から1つお選びください】</p> <p>A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○学級集団調査WebQU →児童やクラスについての状況を把握するための調査を年2回実施し、学級経営の改善を図る ○いじめの未然教育・早期発見・早期対応 →児童アンケート（各学期に1回） 日頃の担任との関係づくり 副担任等、誰にでも相談してよいというアナウンス 開かれた保健室、校長室 ○警察との連携 →必要に応じて、すぐに連携を図ることができる体制作り ○校内の居場所づくり・登校支援員 →教室で過ごすことができない児童に対する居場所の確保（相談室や保健室等） 安心できる居場所づくりと学級に戻ることができるようにする支援（場合によっては外部との連携） 一人で登校できない児童に対する登校支援員の配置 ○ケース会議 →必要に応じて、会議を適宜設置 		<p>【評価についてのコメント】 (職員より) ・5組の児童と各学級の交流がいろいろな場面でできている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーによる支援 →週1回の定期訪問 児童、保護者へのカウンセリング カウンセラーによる全員面談（5年生） ○子家セン・児相との連携 →必要に応じて、すぐに連携を図ができる体制づくり ○外国人等への教育 →日本語指導教員の要請 外国語に対応した資料の提供 ○ヤングケアラーやLGBTQなど多様な悩みのある児童の支援 →道徳等授業において多様性についての理解啓発授業を行う 担任が家庭環境や児童の様子を把握し、学校全体で共有、理解を図る 	3.44	
		<ul style="list-style-type: none"> ○地域の拠点としての特色ある学校施設の整備 →トイレの完全洋式化 ○学校図書館の充実→図書の整備 ○校内防犯体制の充実→避難訓練等において、職員の行動を確認 ○学校給食における食物アレルギー対応 →年度当初にアレルギー対応児童を共有、給食の配膳を別にする 	3.33	
育柔環軟個境で別つ造りなす学習（7空間と安全・安心な教）	上を学校施設を進めるにこども育て、I推児C進童Tし・環生生境す徒等のの安教育・環安境心のを整備	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯教育・防災教育 →月に1回、避難訓練を実施（地震、火災、引渡し、一斉下校、不審者、Jアラート、二次避難、津波等） ○交通安全巡回指導 →月に1回学級指導 登下校の歩き方、遊び方、危険な場所の確認等 	3.5	<p>【A～Dの中から1つお選びください】</p> <p>A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)</p> <p>【評価についてのコメント】 (職員より) ・いろいろな避難訓練の形態があり、臨機応変に対応する訓練ができている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度よりコミュニティ・スクールを設置 →学校運営協議会の設置 ○地域との連携 →新教科「おおたの未来づくり」における連携 2・3年町探検 登下校見守りボランティア ○学校施設開放 →3か月に1度、施設開放会議を設置 	3.5	
と学校個別目標を達成するための家庭・学校・地域連携（7つの通り連携する・協働による地域コミュニティの核）	全づ地体でこをミどめにたるテちとをの育も核成にこし、しまでます校の。・学家庭づく・地り域やが地域連携の・特色をもじか地し域た社学会校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童誘導員の配置 →登下校、遠足、社会科見学、移動教室等の見守り、誘導 ○地域の見守り →登下校見守りボランティア ○通学路における安全点検 →年度当初、担任による児童の通学路確認 年2回、巡回による地域の安全点検 	3.29	<p>【A～Dの中から1つお選びください】</p> <p>A B C D (できている)(だいたいできている)(あまりできていない)(できていない)</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○PTAとの連携 →PTA行事における教員への参加呼びかけ 行事におけるPTAの協力 	3.48	<p>【評価についてのコメント】 (職員より) ・いつもPTAの方々にご協力いただき助かります。 ・ボランティアの募集などでご協力いただきとてもありがとうございました。 ・コミュニティ・スクールの委員の方々と授業や行事などで関わっていけるようになれたらと思う。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○保護者対象の講演会 →道徳授業地区公開講座10/11 体育・健康教育授業地区公開講座2/7 	3.46	